

食料安全保障と 私たちの暮らし



2026年

7月10日[金]

参加費無料

事前申込不要

開場 18:00 / 開演 18:30

場所 ハートピア京都

地下鉄烏丸線丸太町駅5番出口すぐ

食卓の未来を考える

異常気象や戦争、人口増加、水不足等を背景に、世界中で食料不足が深刻化し、食料は「お金をせばいつでも買える商品」ではなくなりつつあります。日本でも、米の供給が不足し価格が高騰した「令和の米騒動」は記憶に新しいところです。

本講演では、食料安全保障の第一人者である鈴木宣弘氏をお迎えし、世界で何が起きているのか、日本の農業と食はなぜここまで弱体化したのか、日本の食を守るために本当に必要なこととお話しいたします。

食べることは生きることそのものです。健康で文化的な最低限度の生活を保障する憲法25条の問題として、私たちの「食」について一緒に考えてみませんか。

講師 **鈴木 宣弘**さん（東京大学特任教授、農業、農政）

1958年三重県出身。東京大学農学部卒業後、農林水産省入省。九州大学大学院教授を経て、2006年より東京大学大学院農学生命科学研究科教授。食料安全保障推進財団理事長を兼務。日本の食料安全保障問題の第一人者であり、著書に「令和の米騒動」「食の属国日本 命を守る農業再生」「食の戦争」「農業消滅」「世界で最初に飢えるのは日本」など。

